



INCLUSIVE ACTION FOR ALL

# U75 Global Conversation

## 第一回目：世界を知る

Presented by IAFA

Date: August 1, Saturday 8 pm- 9:30 pm

## Zoom会議に参加するにあたっての注意事項

---

カメラをオンにして、自分の顔が主催者や他の参加者に見えるようにしておく

---

自分が発言するとき以外は、マイクをミュートにしておく

---

主催者や他の参加者に質問やコメントをしたい場合はチャット機能を使う

---

主催者であるIAFAがZOOM会議中、画像や音声を録音、録画しています

---

ブレイクアウトセッション中はマイクのミュートを消し、積極的に発言しよう

時程	内容
8:00- 8:05	歓迎の挨拶とIAFAの説明
8:05-8:10	IAFAスタッフの紹介（一言挨拶）
8:10-8:15	UN75 GCの説明
8:15-8:30	高校生参加者の自己紹介
8:30-8:45	アイスブレイク
8:45-9:05	フェローMaria, Tazin, Adeelからのビデオメッセージ鑑賞
9:05-9:20	小グループに分かれてディスカッション
9:20-9:25	各グループで話し合われたことをフィードバック
9:25- 9:30	まとめ、記念撮影

本日のタイム  
テーブル

## Inclusive Action for All (IAFA) とは？

- IAFAは、全ての人々が、生きること喜びを持てる共生社会を目指します。志を持つ個人が、他者を尊重しながら、社会の豊かさ与人々の幸福を実現するために何が必要かを掴み取っていきます。そしてグローバルな視点から、ローカルな活動を協力して行い、社会を少しでも良い方向に変えていきます。



**Vision**

- 誰もが生きること喜びを持てる共生社会



**Mission**

- 世界のunmet needsを、人々のwell-beingへ



**Value**

- 自分を認め他者を尊重する  
グローバルな視点でローカルに活動する  
コラボレーションでイノベーションを

# 子ども向けの英語の本をブータン、バングラディッシュ、ケニアなどの小学校・障がい者施設に送る「スマイルブックプロジェクト」

## ①各地訪問 情報のインプット



Input  
情報の収集

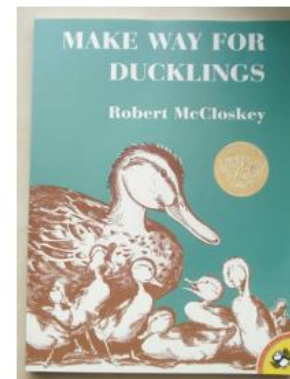
Input  
新たな気づき

## ④世界に広める必要性 新たなミッション立ち上げ



## ②米国在住の日本人に呼びかけ これまで大事に読んできた英文児童書 を提供してもらう

Discussion  
どう活用するか？



Output  
社会での実践

## ③英文児童書を求める小学校等に 集めた英文児童書を届ける

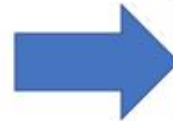


子どもの教育  
の向上

# Smile Book Project



Boston



Tokyo  
(48 parcels)



# Thimphu, Bhutan (June, 2019)

Delivered book donations from Boston  
to Jigme Losel Primary School in Thimphu  
By Midori Hosoda (IAFA, Fellow )



# Nairobi, Kenya (January, 2020)



Maria Omare (Action Foundation):  
Non Governmental Organization working to  
build inclusive and resilient communities  
where children and young people with  
disabilities can thrive



# Cox's Bazar, Bangladesh (March, 2020)



Tazin Akter (HELVETAS)  
Working for the Rohingya Refugees and  
children in local community.



## Inclusive Action for All (IAFA) が提案するプロジェクト

---

### 1. スマイルブックプロジェクト

→米国在住日本人が大切に読んできた英文児童書を提供してもらい、必要としている小学校などに届ける。

### 2. ～世界を知るプロジェクト *Knowing the World Project*～

メディアではなかなか報道されない世界の現状を、皆様と共有し、一人一人何ができるかを考えます。

### 3. ～絵本で繋がるプロジェクト *Making Connections, One Picture Book at a Time*～

子どもたちに世界の現状を知ってもらい、絵本を通した子どもから子どもへの助け合いの連鎖を創るプロジェクトです。

### 4. ～自分のストーリーを書いて、世界に繋がる *InAction Project*～

誰もがそれぞれ、掛け替えのない自分の生きてきたストーリーを持っています。自分史を書いて、世界中のメンバーと仲間たちとで交換して繋がるプロジェクト。

### 5. ～学術調査・研究関連 *Surveys and Research*～

IAFAが行うプロジェクトを学術的に研究・解析し、未来の人材育成のために役立てます。

# IAFA スタッフ



## 細田 満和子 (Miwako Hosoda)

IAFA 代表理事。星槎大学副学長・教授。博士（社会学）。東京大学、コロンビア大学、ハーバード大学公衆衛生大学院を経て現職。国際社会学会医療部会（ISARC15）会長、アジア太平洋社会学会（APSA）会長。著書「チーム医療とは何か」、「グローバル共生社会へのヒント」等多数。

## 八代江津子 (Estuko Yashiro)

アメリカ、ボストン在住。IAFA 理事。New England Nantucket Basket Association 代表。日本ボストン商業会会長。GrayMist Enterprises Inc. CEO。Japan Film Festival Boston（日本ボストン映画祭）代表。Tewassa 代表。著書「かご伝」、「ナンタケットバスケットストーリー」等。



## 北原 秀治 (Shuji Kitahara)

IAFA 理事。東京女子医科大学医学部講師。博士（医学）。日本歯科大学、東京女子医科大学、ハーバード大学/マサチューセッツ総合病院を経て現職。海外日本人研究者ネットワーク（UJA）理事。「論座」（朝日新聞社）レギュラー論者。早稲田大学政治経済学術院大学院経済学研究科博士後期課程在学中。



## 細田 翠 (Midori Hosoda)

米国コロンビア大学3年。比較文学・社会学と生物学の二重専攻。興味は公衆衛生、健康の社会的決定要因、教育。CU STRIVE（鎌形赤血球症を患う中高生患者のメンタープログラム）部長。渋谷教育学園渋谷中学高等学校卒。



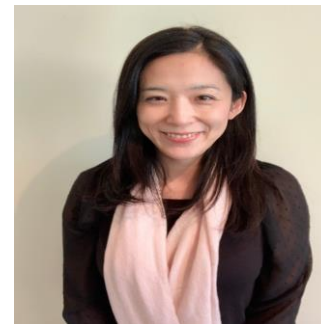
道井 郁子  
(Ikuko Michii)



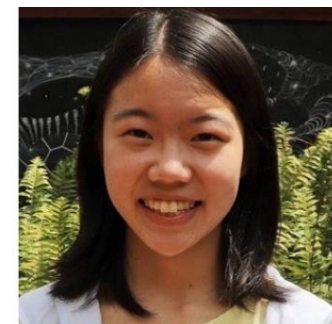
馬場 沙耶香  
(Sayaka Baba)



大城 七瀬  
(Nanase Oshiro)



高橋 美代  
(Miyo Takahashi)



細田 茜  
(Akane Hosoda)

# UN75 Global Conversation とは (1)

## ➤ DIALOGUES WHILE DISTANCING

There are a number of ways to hold dialogues safely while respecting Covid-19 health advice and regulations, such as:



Telephone or video conferencing



Online forums or chat applications/sites



Social media



Radio or podcast programmes or "phone-ins"

For a more detailed guide to online dialogues please visit:

<https://trello.com/c/Phflqs4c/135-guide-to-online-dialogues>

# UN75 Global Conversation とは (2)

## ➤ After the dialogue:

1



Send us a summary of the key points raised via <http://feedback.un75.online/>. The form includes an option to upload photos, video/ audio recordings and short reports.\*

2



Share your results online, using **#UN75** and tagging **@JoinUN75** - and encourage others to take part.

3



Check [www.un.org/UN75](http://www.un.org/UN75) regularly for news and results as they emerge.

\* If you have trouble accessing the online form, please complete the form below email it to: [un75@un.org](mailto:un75@un.org)

# 参加者の自己紹介

1. 名前
2. 現在通っている学校名
3. 自分を表す家にあるアイテムを紹介



# アイスブ レーク：質 問リレー



### フェロー達が目指すゴール

7の目標はそれぞれが独立している訳ではなく、すべての目標が有機的に統合的に目指され成されてゆくというものです。フェロー達は、自分の住んでいる地域を中心に、最優先されること、自分の得意なことに全力で取り組んでいます。ここでは、フェロー達が目指すゴールがやすく理解するために、主たる目標とそのための取り組みについて解説します。

### 7 (アリア)

#### 7 - **Quality Education = 質の高い教育をみんなに**

Mariaはケニアのスラム街に住む障がいのある子供たちの教育環境の改善に取り組んでいます。途上国では障がいがある人が豊かに生きていくのは一層難しいことです。そこで誰でも受け入れることのできる質の高い教育を目指しています。近くの学校と連携を取り、現在22校以上の学校と連携した教育プログラムを構築し、障がい支援しています。

Mariaの動画 <https://youtu.be/VmGmTWRtUF0>



### タジン)

#### 5 - **Gender Equality = ジェンダー平等を実現**

Tazinはバングラディッシュのコックスバザールのロヒンギャ難民キャンプなどで様々な活動支援をしています。特にジェンダー(性別)による不公平さに苦しんでいる人々について、性別に関係なく誰もが同じよう楽しく生きられる環境や社会の実現のために、コミュニティの分析や技術提供、支援体制づくりなどに取り組んでいます。

Tazinの動画 <https://youtu.be/h3u7VCTwOA0>



### アディール)

#### 8 - **Decent Work and Economic Growth = 働きがいも経済成長も**

パキスタンで障がいを持つ貧しい人々は、十分な教育機会もなく、希望がもてない状況にあります。Adeelは自身もポリオウイルスが原因による身体の麻痺がありますが、障がいのある貧しい人々の為に、教育や訓練の機会を提供するITの会社を起業し、誰もが共に成長していける雇用環境の実現に取り組んでいます。

Adeelの動画 <https://youtu.be/4CjMaosI2Cw>



# フェローからのビデオメッセージ

小グループに分かれて  
今見たビデオの感想を  
話し合おう

\* ブレークアウトセッションです。マイクをオンにして積極的に発言しよう！

	参加者	担当
1	高校生4人	北原
2	高校生4人	高橋
3	高校生4人	細田 (翠)
4	高校生4人	馬場

# グループごとの フィード バック

- ビデオを観て印象に残ったこと
- ビデオを通して学んだ社会問題
- 身近でおこっていることであなたが変えたい、助けたいと思っている問題
- その他



第1回目のま  
とめ&第2回  
目にむけて&  
記念撮影



次回は8月8日（土）午後8時から午後9時半



送付されるアンケートに答えてください！



3回目修了すると、修了証書が授与されます